

2022年3月期中間期の連結ソルベンシー・マージン比率の公表について

2022年3月期中間期の当社連結ソルベンシー・マージン比率（保険会社およびその子会社等に係る保険金等の支払能力の充実の状況）を、下記のとおり算出したのでお知らせいたします。

記

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計期間 (2021年9月30日)
(A)連結ソルベンシー・マージン総額	148,383	161,973
資本金等	58,510	68,691
価格変動準備金	1,924	3,380
危険準備金	—	—
異常危険準備金	58,342	57,503
一般貸倒引当金	59	50
その他有価証券評価差額金・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)	20,271	18,074
土地の含み損益	2,462	2,374
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	1,119	1,105
保険料積立金等余剰部分	—	—
負債性資本調達手段等	—	—
保険料積立金等余剰部分及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	—	—
少額短期保険業者に係るマージン総額	—	—
控除項目	—	—
その他	5,693	10,794
(B)連結リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{(R_1^2 + R_2^2)} + R_3 + R_4)^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	22,937	22,991
損害保険契約の一般保険リスク(R ₁)	14,196	14,335
生命保険契約の保険リスク(R ₂)	—	—
第三分野保険の保険リスク(R ₃)	—	—
少額短期保険業者の保険リスク(R ₄)	—	—
予定利率リスク(R ₅)	811	761
生命保険契約の最低保証リスク(R ₆)	—	—
資産運用リスク(R ₇)	7,203	6,613
経営管理リスク(R ₈)	565	560
損害保険契約の巨大災害リスク(R ₉)	6,068	6,309
(C)連結ソルベンシー・マージン比率 [(A)/(B)×1/2]×100	1,293.7%	1,408.9%

(注) 「連結ソルベンシー・マージン比率」とは、保険業法施行規則第86条の2および第88条ならびに平成23年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出された比率です。当該比率は、行政当局が保険会社グループを監督する際に活用する客観的な判断指標のひとつですが、その数値が200%以上であれば「保険金等の支払能力の充実の状況が適当である」とされております。

以上